

## 平成 21 年度植物感染生理談話会のご案内

日本植物病理学会 平成 21 年度植物感染生理談話会を下記の通り開催致しますのでご案内申し上げます。万障お繰り合わせの上、奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。

会期：平成 21 年 8 月 6 日（木）13:30～8 月 8 日（土）10:45

会場：大沼国際セミナーハウス

〒 041-1354 北海道亀田郡七飯町字大沼町 127 番地 1

TEL: 0138-67-3950 FAX: 0138-67-3956

<http://www17.plala.or.jp/onuma-seminar/>

本年度は会場と宿泊場所が異なります。当日はホテルではなく大沼国際セミナーハウスの方へ直接お越し下さい。会場となる大沼国際セミナーハウスは大沼国定公園内にあります大沼湖の西湖畔に位置しており、森や湖の自然に囲まれながら有意義な時間を過ごしていただけることと思います。

テーマ：「植物—病原体相互作用の理解に基づく病害制御の新視点」

プログラム（予定）：講演者と演題のみ記載しました。演題及び時間は変更される可能性もあります。

8 月 6 日（木）

13:30～ 受付（大沼国際セミナーハウス）

14:15～14:20 開会の辞

第一部 病原性と共生

14:20～14:50 染谷 信孝（北海道農業研究センター）

生物防除の成否を左右する微生物の機能制御について

14:50～15:20 志村 華子（北海道大学大学院農学研究院）

レブニアツモリソウと菌根菌の共生関係を制御するメカニズム

15:20～15:50 江澤 辰広（北海道大学大学院農学研究院）

アーバスキュラー菌根共生における寄生的パートナー：近代農業はチーターの選択圧となるか？

15:50～16:00 休憩

特別講演

16:00～16:50 一色 賢司（北海道大学大学院水産科学研究院）

食品安全のためのリスク分析とフードチェーン対策

19:00～21:00 懇親会

8 月 7 日（金）

8:45～12:00 エクスカーション（現地圃場の視察：カボチャ疫病発生圃場など）

13:30～14:00 佐々木 純（北海道立中央農業試験場）

ピーマンの抵抗性品種を侵すトウガラシマイルドモットルウイルス（PMMoV）系統の出現と弱毒ウイルス株利用法の開発

14:00～14:30 橋床 泰之（北海道大学大学院農学研究院）

病原菌は植物に病気を引き起こすか？—病原菌と非病原菌の関係から見えてきたこと—

14:30～14:40 休憩

第二部 宿主特異性と病原多様性

14:40～15:10 上田 重文（九州沖縄農業研究センター）

トマト黄化葉巻ウイルスに関する病原性と多様性について

15:10～15:40 大島 一里（佐賀大学農学部）

ポティウイルスの進化生態と宿主特異性

15:40～16:10 高松 進（三重大学生物資源学部）  
うどんこ病菌の多様性と宿主植物との関係  
16:10～16:30 休憩  
16:30～17:30 ポスターセッション  
19:00～20:00 夕食  
20:30～22:30 イブニングディスカッション

8月8日（土）

9:00～ 9:30 久保田健嗣（九州沖縄農業研究センター）  
ウリ科野菜に発生する2種のトバモウイルスの伝染機構

第三部 抵抗性遺伝子と病害制御

9:30～10:00 中住 晴彦（北海道立中央農業試験場）  
メロンつる割病菌（*Fusarium oxysporum* f.sp melonis）レース 1,2y 抵抗性品種育成過程  
における抵抗性選抜効果とその抵抗性機作

10:00～10:30 植原 健人（北海道農業研究センター）  
シストセンチュウ感染に対するトマト抵抗性の分子機構と線虫制御

10:30～10:45 表彰式，閉会の辞

ポスター発表：大学院生・ポスドクなど若い研究者のプレゼンテーション能力を養うとともに，参加者間の交流を深める目的で，ポスター発表（8月7日午後）を企画致しますので，積極的に申し込み下さい。ポスター優秀発表賞も設けます。発表を希望される方は下記の要領で申し込み下さい。

○申し込み・要旨作製上のご注意

発表要旨集は当日配布致します。タイトル，発表者，所属，要旨（600字程度，英文の場合は160語程度）にまとめ，MS-WORD（.doc）ファイルとして7月13日（月）までに，sonet@chem.agr.hokudai.ac.jp あて E-mail でお送り下さい。

○ポスター作製方法

ポスターはA0サイズ（840×1188mm，縦長）1枚をご用意下さい。当日「ポスター番号」を表示しますので，ポスター左上部に100×100mmのスペースをあけた形で，タイトル・発表者・所属を上部に表示して下さい。会場には接着用具などを準備致します。8月7日16:30～17:30に各ポスターの前で説明をしていただく予定です。

宿泊：グリーンピア大沼 〒049-2192 北海道茅部郡森町赤井川229

TEL: 01374-5-2277 FAX: 01374-5-2321

<http://www.gp-onuma.com>

原則として全員宿泊，懇親会も全員参加とさせていただきます。部屋は会議・研修パック利用のため相部屋（3～5名）となります（部屋割りは事務局に一任いただきます）。諸事情によりシングルルームまたはツインルームをご希望の方は事務局にお申し付け下さい。ご希望に添えない場合はご容赦下さい。また，参加費には3日目も昼食費は含まれておりません。各自食事していただくこととなりますのでご了承下さい。大沼国際セミナーハウスとの間はホテルバスにて送迎致します。ホテルは温水プールやテニスコートなども備えており，講演会の合間に屋内外でのスポーツを楽しんでいただけます。

参加申込み：綴じ込みの払込取扱票に必要事項を記入し，平成21年6月5日（金）までに25,000円をご送金下さい。内訳は，参加費（講演要旨集1部を含む）4,000円，宿泊費（2泊；1日目懇親会，2日目朝夕食，3日目朝食を含む）21,000円です。なお，講演要旨集を更にご希望の方は1部3,000円となります。払込取扱票には部屋割り等のため，男女の別，所属，住所，E-mailアドレスもご記入下さい。また，1日目と3日目は函館空港，JR大沼公園駅と大沼国際セミナーハウスとの間に無料の送迎バスが出ます。送迎バスを利用される方は送迎バスご利用の旨及び函館空港もしくはJR大沼公園駅のおよその到着・出発予定時刻を払込取扱票の通信欄にご記入下さい。なお，原則として会期中の送迎は致しかねますのでご了承下さい。

払込取扱票による送金をもって談話会参加の申込みとします。整理の都合上、払込取扱票は参加者1名ごとに1枚をお使い下さい。7月下旬頃、講演要旨集とともに入金確認のお知らせを郵送させていただきます。また、払込取扱票がさらに必要な場合は、事務局にご請求下さい。

大沼国際セミナーハウスへの交通機関：

JR 大沼公園駅から約2 km。大沼周遊道路沿い、大沼森林公園隣接。駅から大沼国際セミナーハウスまで送迎バスをご利用できます。送迎バスの発着時刻は後日改めてご連絡致します。

**【函館空港から】**

空港から大沼国際セミナーハウスまで無料送迎バスが出ますのでご利用下さい（片道約1時間）。送迎バスをご利用でない方は、空港連絡バスでJR 函館駅まで出た後JRに乗り換え、JR 大沼公園駅で下車下さい。

**【列車をご利用の場合】**

函館本線 JR 大沼公園駅下車。

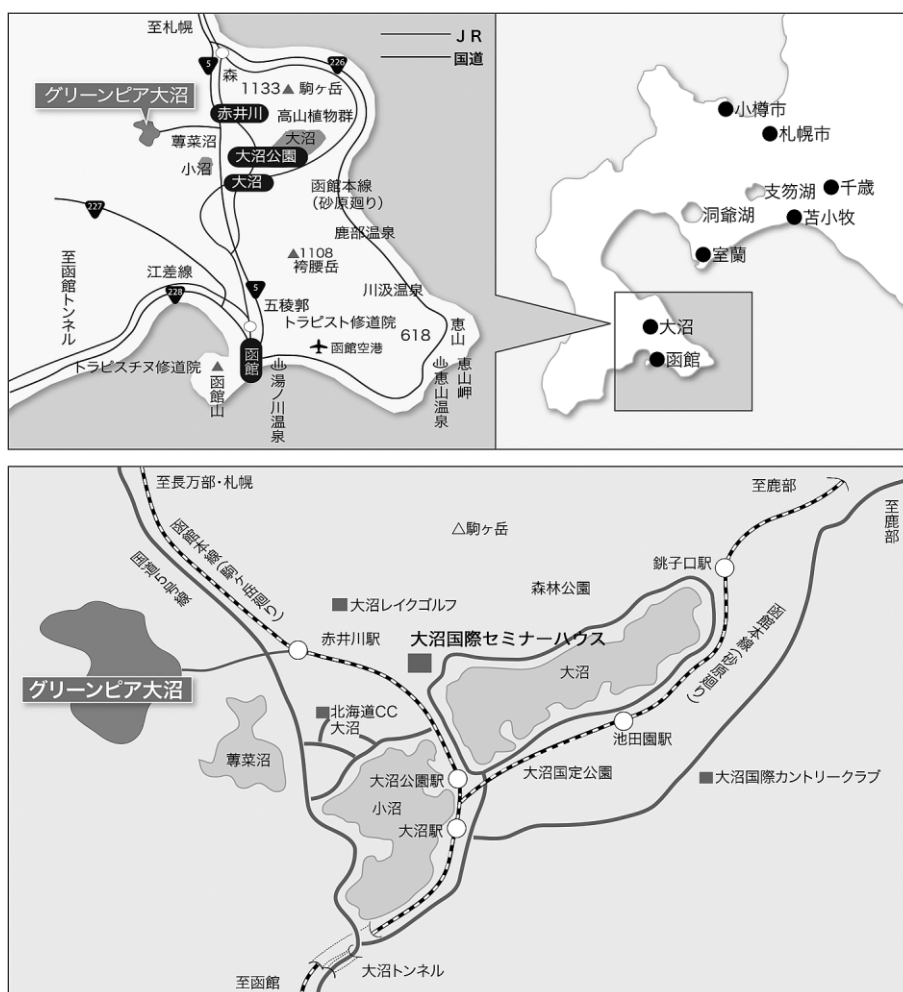
**【車をご利用の場合】**

国道5号線から西大沼で道道43号線に入り大沼周遊道路へ。周遊道路に入って北側約1 kmのところにあります。セミナーハウスには70台程度収容の駐車場があります。

グリーンピア大沼への交通機関：

JR 大沼公園駅からグリーンピア大沼送迎車（個別に事前予約が必要です）かタクシーで15分。

会場周辺図：



平成 21 年度植物感染生理談話会事務局：

北海道大学大学院農学研究院（〒060-8589 北海道札幌市北区北 9 条西 9 丁目）

代表 増田 税

（メンバー 北大農：上田一郎，近藤則夫，畑谷達児，曾根輝雄，秋野聖之，中原健二，犬飼 剛

道立農試：竹内 徹，堀田治邦，安岡眞二，三澤知央）

問い合わせ先 犬飼 剛（TEL: 011-706-4184 FAX: 011-706-2483 E-mail: [yoshi@abs.agr.hokudai.ac.jp](mailto:yoshi@abs.agr.hokudai.ac.jp)）